

住民問題

問 区未加入者の実態調査は

答 年度内には実施したい



太田 修 議員

【行政と区の果たす

役割について】

問 有事の際、区未加入者の行政対応と区の役割は。

村長 災害発生時は、住民の避難誘導や安否確認、避難所の運営など、行政区に期待することは多岐にわたります。区加入への法的強制力がないことから、各区長の意見を聞きながら最善策を見出していききたいです。

問 未加入理由等の実態調査は。

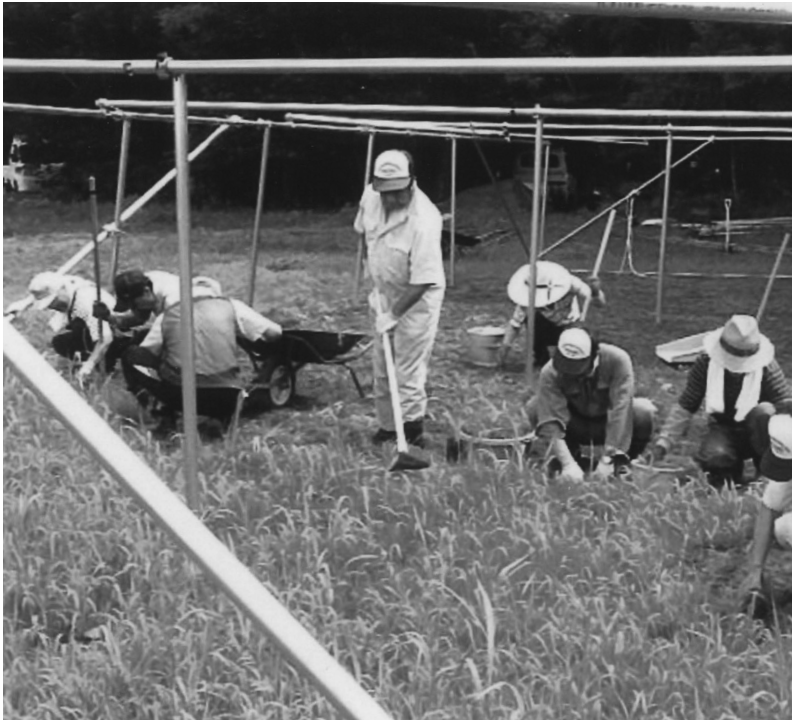
村長 前回調査から6年ほど経過しており、年度内には実施したいです。

【水源の保全対策について】

問 村独自の規制区域と要綱等のルール化は。

村長 水道水源林は、国の法整備と、県が届出制な

ど事前把握をする条例化を目指すし、地方事務所ごとに設ける水系別の水資源保全対策地域連絡協議会の開催を待っている状況です。



ワサビ圃場の整備 深空

問 保全区域を線引きし、守るべき区域を守る考えは。

村長 村全体の配水量の60%が源太郎伏流水で、

26%が二股木流川の表流水、14%が楠川の伏流水と推測され、西山山域一帯は国有林や保安林です。村も重要な問題であることを認識しており、県の連絡会議での意向を聞き、庁内議論を経て進めたいと思います。

問 ペットボトル飲料水の商品開発と販売への考えは。

村長 競争が激しい分野と聞いています。水利権の取得、水質等の問題もありますが、活かすべきものは活かしながら企業等に支援したいです。

【産業振興について】

問 耕作放棄地の現状と特産品の掘り起こし策は。

村長 平成23年度は、水田約21ha、畑約12haです。

大北地区農業振興推進協議会で、新たな素材の開発をし、24年度から3年間かけて「北

アルプス山麓ピリツとさわやかワサビプロジェクト」と「おひさまニコニコひまわりプロジェクト」に取り組んでおり、村も協力しています。

問 特産品の認定数と宣伝・販路拡大は。

村長 認定は8品目です。宣伝はテレビ番組の取材協力による放映やDVD・パンフレットでの情報発信、北アルプス山麓ブランド流通推進委員による販路拡大をしています。

【この村

整備計画について】

問 岳の湯利活用は。

村長 1月で通所型介護施設が閉所されたこと、村内の福祉施設が少ないことを考慮し、福祉施設を優先に取り組んでいます。

問 グリーンスポーツの森整備計画は。

村長 平地観光の拠点施設であり、トイレ整備を最優先し、将来に向け一つずつ整備していきます。